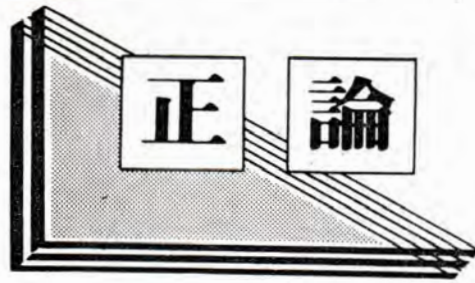


◆◆◆ 新民主党議員の逮捕に注目 ◆◆◆

ソウルでの第十回アジア競技大会は、数々の話題を残して、先頭、無事に閉幕した。韓国国民のすさまじい熱気と精神的高揚に支えられた見事なパフォーマンスであった、ともいえる。

こうして、二年後のソウル五輪への期待と韓国の国際的地位上昇が内外で語られはじめていた矢先、韓国の政情はむかひに騒然としはじめてきている。野党第一党・新民主党の命成煥議員が「この国の国号は反共より統一でなければならない」と国会で



の対政府質問で発言したことが国家保安法第七条第一項に違反するとして同議員が逮捕され、改選問題で揺れていた韓国政局に新たな重大事が加わったからである。今回の事件は、その性格からしても、韓国における民主政治のあり方の根幹にかかわるものであるだけに、その成り行きのかんぞ、私たちが十分に注目しなければならぬ。

アジア大会の成功のみならず、最近の韓国は、その経済環境がウォン・原油安・国際金利安という韓国にとって有利な条件

に支えられたこともあって、経済的にも順調に推移してきている。ポニーで知られる韓国産小型車が本年からはカナダのみならずアメリカ市場にも十万台以上も出るようになったように、輸出も全般にきわめて好

韓国は「先進国」たり得るか

政治的・社会的成熟に期待

躍実視されており、このまま韓国経済が進展して、ソウル五輪も成功し、政治的にも社会的にも安定を持続できれば、九〇年代には、現在四百数十億米にもものぼっている異構対外債務もほぼ返済でき、一人当たりGNPも現在の日本にかなり近くなり、文字通り「先進国」入りするのではないかと思われはじめていた。

◆◆◆ 克服すべき数多くの課題 ◆◆◆

このような韓国経済の成長は、アジアで

シンガポールと香港を置き去りにして、台湾と韓国の将来が注視されはじめたゆえである。

それだけに、経済の発展に比肩し得る政治的安定と社会的成熟が韓国にたいして強く望まれたのであるが、最近の情勢は、この国がまたまた克服すべき課題を数多く残していることを物語っている。「克己」と

いうスローガンも、アジア大会の金メダル数ではそれを達成したとはいえず、そこには不自然な無理があちちに見えられた。経

東外大教授 中嶋 嶺雄



は、いや全世界的に見ても、台湾に次いで例外的なものであり、台湾の奇跡とともに、韓国の奇跡が国際的にも注目されだしていったのである。八〇年代初頭には、「フォー・ドラゴンズ」とか「ギャング・

オア・フォー」といわれた韓国、台湾、香港、シンガポールのいわゆるアジア新興工業諸国（NICs）もしくは（NICs）のなかで、過度の対外依存と小さな国内市場というハンディのゆえに、すでに成長の限界に達し、その先行きに驕りが見えてきた

◆◆◆ 遺憾な私の著書『海賊版』 ◆◆◆

私は、そのような韓国の、いかにも今日の韓国らしい実状を身をもって体験したので、読者の参考に供するために、その事実を（）で具体的に記してみよう。

それは、私の著作の『海賊版』に関することである。現代中国や共産圏あるいは国

際関係にかんする著作が解禁されたこともあって、このころ韓国では私の著書が相次いで翻訳出版されている。もとより、原著者には、なんの事前連絡もないばかりか、出来上がった訳書も送ってきたことがない。韓国は国際著作権条約（万国条約およびベルン条約）日本は両者に加盟しているのに加わっていないのだから、法的にはやむをえないとはいえず、このような道義的には大いに問題があるところだ。これだけならば、あえてここに記すこともないのだが、私の最近のケースは、もっとひどいものであった。それは、こうである。

私はこの六月初旬に『二十一世紀は日本・台湾・韓国だーいま東アジアが世界をリードするー』（第一企画出版）と題する啓蒙書を出版した。早速、台湾からも翻訳許可の求めが数件あったが、韓国では翌七月早々に高麗書林という出版社から訳書が出たうえに、原著者の意を歪めてタイトルもなんと『21世紀は韓国・日本・台湾だ』と勝手に入れかえて、売り出していたのである。

最近ソウルを訪れた私の教養子の一人が「この本が高く積まれて大に売れているぞです」と二冊持ち帰ってくれたのでわかったのだが、このようにすれば『エズラ・ヴォーゲル氏の『シャパン アズ ナンバーワン』のように、大に売れるにきまっています。

しかし、こうしたことをやって「克己」など言っているかぎり、韓国はまだまだ「先進国」たり得ないであろう。

今回のアジア大会にも示された、なりふりかまわぬ中国への甘い対応も、いわば北朝鮮との対抗上のものでしかないのだから、もしもそれが真の韓中接近であるならば、命成煥議員の逮捕など必要ではなかったはずだ。